

# エリザベス女王即位60周年



# 「ダイヤモンド・ジュビリー」

## 女王生誕後の 英国の主な出来事

- 1926年 女王エリザベス2世誕生
- 1930年 マーガレット王女(妹)誕生
- 1939年 第二次世界大戦勃発
- 1940年 チャーチル首相就任
- 1945年 アトリー労働党内閣誕生
- 第二次大戦終戦
- 1947年 インド、パキスタンが英国から独立
- エリザベス王女がフィリップ王子と結婚
- 1948年 長男チャールズ王子(現皇太子)誕生
- 1949年 英連邦(コモンウェルス)が正式発足
- 1950年 長女アン王女誕生
- 1951年 第2次チャーチル保守党内閣誕生
- 1952年 父の死去を受けエリザベス王女が女王に即位
- 1955年 チャーチル首相引退
- 1960年 次男アンドルー王子誕生
- 1964年 三男エドワード王子誕生
- 1975年 女王訪日
- 1979年 サッチャー氏が女性として初の首相就任
- 1981年 チャールズ皇太子とダイアナ妃が結婚
- 1982年 フォークランド紛争
- 1990年 サッチャー首相辞任
- 1992年 ウィンザー城で火災発生
- 1996年 チャールズ皇太子とダイアナ妃が正式離婚
- 1997年 プレア首相就任
- ダイアナ元妃がパリで交通事故死
- 2002年 マーガレット王女とエリザベス皇太后が相次いで死去
- 2005年 チャールズ皇太子がカミラ夫人与再婚
- 2007年 プレア首相辞任
- 2010年 キャメロン首相就任
- 2011年 ウィリアム王子とキャサリン妃が結婚
- 2012年 女王即位60周年祝賀行事

## 主な王室メンバー略歴

### フィリップ殿下

ギリシャ王室に生まれるが、子供の頃、王室がギリシャから追放されたためドイツや英国(イングランドやスコットランド)で暮らす。18歳で英国海軍に入り、エリザベス王女(後の女王)に一目惚れされ、その後結婚。率直な物言いで人気がある一方、「失言」が話題になることも。

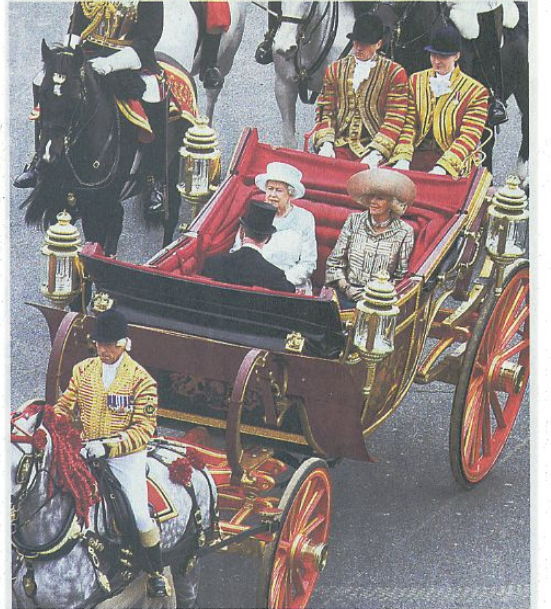
### 殿下と共に

3日、ロンドン中心部のテムズ川を下る水上パレード「テムズ川パレード」にフィリップ殿下(左)と共に参加するエリザベス女王=A.P



### ゆったりと

5日、チャールズ皇太子夫妻らと馬車でバッキンガム宮殿に向かうエリザベス女王(車中後部座席) =A.P



### 壮観1000隻

3日、水上パレード「テムズ川パレード」にはポートやヨット計1000隻以上が参加した=ロイター

# 感謝のほほ笑み

英国のエリザベス女王(86)は今年、即位から60年を迎えた。英国の国王(女王)で在位が60年を超えたのはヒクトリア女王(1819-1901年、在位63年7カ月)以来、2人目。春以降、国内はもとより女王と関係の深い英連邦諸国などで祝いのイベントが続いている。6月2日から5日にかけてロンドンを中心に「ダイヤモンド・ジュビリー(ダイヤモンドの祝祭)」の記念行事が繰り広げられ、祝賀ムードは最高潮に達した。

記念行事初日(2日)のイブニングは、女王による伝統の競馬レース「ダービー」観戦。ニオンジャック(英国旗)の女王とフィリップ殿下がロンドン郊外のエプソム競馬場に中、ダービーではキャメロン

到着すると、集まった競馬ファンは拍手で祝意を表し、ユニオンジャック(英国旗)の女王とフィリップ殿下は小旗を振った。女王が見守る中、ダービーではキャメロン

トが2着に5馬身差をつけて快勝し、クラシック2冠を達成した。翌3日は、女王と王室メンバーがポートでロンドン中心部のテムズ川を下る水上パレード「テムズ川パレード」に参加した。女王は白い服に白の帽子で、軍服姿のフィリップ殿下と「スベリッ

トが2着に5馬身差をつけて快勝し、クラシック2冠を達成した。翌3日は、女王と王室メンバーがポートでロンドン中心部のテムズ川を下る水上パレード「テムズ川パレード」に参加した。女王は白い服に白の帽子で、軍服姿のフィリップ殿下と「スベリッ

最終日の5日は宗教儀式が中心だった。ロンドンのセントポール大聖堂で行われた感謝式には、女王のほか、カメロン首相、王室メンバー、他宗教の指導者などが出席。全員で国旗を掲げながら、女王は涙を浮かべながら時折、右手を振って応えた。王室に到着した女王、皇太子夫妻、ウィリアム王子夫妻、ヘンリー王子はバルコニーに姿を現し、集まった市民に手を振った。

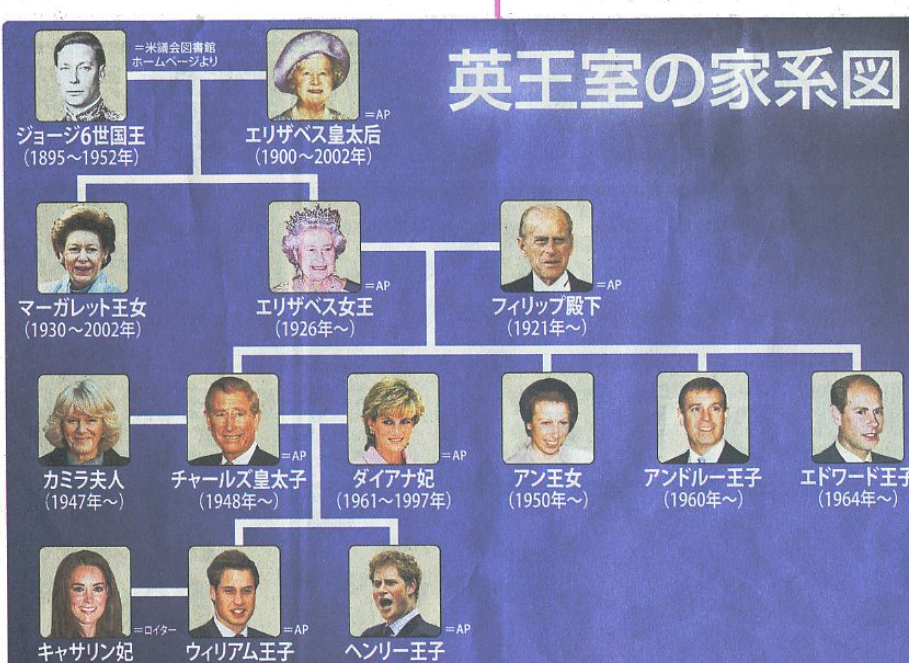
## 祝賀イベント 伝統、現代的に

### 名曲リレー

4日、ロンドンのバッキンガム宮殿前で開かれたエリザベス女王即位60年の祝賀コンサート=A.P



名曲「レット・イット・ビー」を歌い、ステイビー・ワシントン、エルトン・ジョンらが出演した。コンサート前にフィリップ殿下が体調を崩して入院するというアクシデントがあったが、大事には至らず、コンサートの最終盤には女王自身が登場し、客席から満場の拍手を浴びた。伝統重視の初日、2日目を打って変わった現代



### チャールズ皇太子

エリザベス女王とフィリップ殿下の長男で王位継承順位は1位。ケンブリッジ大トリニティー・カレッジで学位取得後、71~76年に海軍での生活を送る。81年にダイアナ妃と結婚し96年に離婚。05年にカミラ夫人与正式結婚した。チャリティーや歴史的建造物保護の活動に積極的に取り組んでいる。

### ダイアナ妃

英国貴族に生まれチャールズ皇太子と結婚。王位継承権のあるウィリアム、ヘンリー両王子を産む。地雷禁止活動に積極的に取り組む。皇太子と離婚後の97年、パリで交通事故死。

### カミラ夫人

元英国陸軍将校の家に生まれ、スイスやパリで教育を受ける。英国軍人と最初の結婚をして2児をもうけ、その後、離婚。長年恋愛関係にあったチャールズ皇太子と再婚する。最近皇太子の夫人として国民の支持も高まっている。



### 13歳 フィリップ王子に一目惚れ

96年のチャールズ皇太子とダイアナ妃の離婚、翌年のダイアナ元妃の事故死で国民の王室批判が高まったが、女王は一般国民との交流を通して王座人気を回復させた。昨年ウィリアム王子とキャサリン妃の結婚効果もあり、現在王室人気は最高レベルになっている。

この60年間に女王が出したクリスマスカードは約4万5000通。外遊は261回、計116カ国。特に女王が50歳を務める国への訪問が圧倒的に多く、カナダ29回、オーストラリア16回、ニュージーランド10回など。訪日は75年の1回。趣味はクロスワードパズルで、一般国民からの手紙に目を通すことも日課になっている。

### 女王の生い立ち

女王エリザベス2世は1926年4月21日午前2時40分、ロンドン・フルトン通りでヨーク公家のジョージ6世夫妻の長女として生まれた。家族からは「リベラ」の愛称で呼ばれた。4歳の時、妹のマーガレット王女が誕生。39年7月5歳年上のフィリップ王子(後の殿下)に出会って一目惚れしたといわれる。

40年には、第二次大戦の戦火を避けるためウィンザー城に疎開したが、19歳で近況した45年春、女子国防軍に入隊。兵員番号は「2300873」。少尉として軍用車両の整備やトラックの運転を担当した。

第二次大戦勝利後の47年4月、初の外遊として南アフリカを訪問し、7カ月後にフィリップ王子と結婚。48年には長男チャールズ皇太子(現皇太子)と結婚。50年には長女アン王女を出産した。52年2月6日未明、父ジョージ6世国王の急死を受けて、25歳という若さで女王に即位。翌53年6月2日に戴冠式を行い、夫婦で世界を回った。その後、女王はアンドルー、エドワードの3王子を出産した。